

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------------------|----|--------------|
| ○事業所名 | 障害児通所支援事業所すばる（放課後等デイサービス） | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年12月1日 | | ～ 令和6年12月27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 14 | (回答者数) 14 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年2月1日 | | ～ 令和7年2月27日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年2月28日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 小集団という環境の為、個の特性に合わせたきめ細やかな支援が可能である。 | <ul style="list-style-type: none"> ■小集団を活かした、活動プログラム（レク・運動・工作）を年間計画をして実施。活動プログラムでは個々の苦手としていることに対して、特性に配慮した支援を行うことで、出来ることを増やすだけでなく、対応方法を見つけられるよう取り組んでいる。 ■月に2回程度、定期的な職員間の会議を設け、個別の支援課題に対する支援内容の設定と評価を繰り返し行い、本人の状況に合わせた細やかな支援ができるよう取り組んでいる。 | 社協の福祉サービス（障害者の就労）を生かし交流をお行っていきたい。作業療法士や理学療法士などによる専門的なアプローチによる支援を取り入れていく。 |
| 2 | 法人内に多様な福祉サービスがあり、世代間交流がしやすい環境である。 | ■山形村社会福祉協議会の福祉サービス（デイサービス・小規模多機能）を生かし、お年寄りとの交流を行っている。 | 障害や高齢分野での交流の機会を定期的に設けていく。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 児童が走ったり、身体を大きく使った遊びや活動がしづらい。 | 活動スペースが小集団に対応しているがゆえに、運動などの体を使った活動に適していない。 | 長期休暇の際は、他施設の広い空間を利用したりなどをして体を使う活動を多く取り入れられるように工夫をしている。今後も継続していく予定。 |
| 2 | 支援級や特別支援学校を利用していない児童も含め、同年代との関わりを視点した支援機会が少ない。 | 利用者の年代や発達特性の状態も様々なため、同年代と関わる機会が少ない。 | 事業所外の児童館等と連携をして、関わりを持つ機会を作っていく。 |
| 3 | | | |